



## 第1回協議会だより 《南方部》

令和6年5月29日（水）15:00～16:40 総合福祉センター5階 集会室

### 【実践発表】 郡山市立高瀬小学校

「幼児教育を踏まえたスタートカリキュラムの実践」～安心して学校生活を送るために～



高瀬小学校は郡山市の南東部に位置し、近くには大安場古墳があります。遠く山並みを望む自然豊かな本校へ、今年度43名の一年生が入学しました。本校は小・中学校が同一学区のため、コミュニティ・スクールの推進校として小・中連携の研究を深めています。半面、近隣には幼稚園等が無いことと、多くの幼稚園、保育所等から一年生を受け入れるため、幼保との連携には難しさがあります。それらを踏まえ、職員同士話し合っ、スタートカリキュラムを作成しました。様々な環境から一人で入学する児童も多いことから、児童の発達を踏まえた弾力的な時間割の構成や安心して学べる環境構成、友達作りなどに重点を置き、段階を踏んだカリキュラムを実施しています。実践発表では、入学式から1か月間の実践と子どもたちの様子を伺いました。先生方は、幼児期に育んだ資質、能力を上手く学びに繋げており、子どもたちが自然と学校生活に慣れて、学習に移行できている様子が伝わりました。このことから、児童や保護者が安心して学校生活をスタートさせるためには、改めてカリキュラムの重要性とチーム力、心のゆとりが大事であると感じました。

### 【協議会】 グループ協議で発表に対する感想・意見交換が行われました。



#### ☆ 高瀬小学校の発表について

- ・高瀬小学校の「学習予定表」を見て、想像以上に丁寧に計画を立てて実践していることがわかりました。保護者へも周知していることで、保護者が安心して子どもを学校へ送り出していると思います。幼稚園、保育所では、保護者から就学に向けての相談も受けますが、高瀬小学校の実践は保護者へ伝えるうえでも、大変参考になりました。
- ・スタートカリキュラムが素晴らしく、とても勉強になりました。幼保の活動を繋げる授業形態を実践しており、安心して登校できている子どもたちの姿が想像されました。

#### ☆ テーマ「幼児教育を踏まえたスタートカリキュラムの実践」～安心して学校生活を送るために～について

- ・幼保と小、双方でカリキュラムの共有ができれば、より子どもたちの成長を促せると感じました。また、実際に参観をすることで架け橋期の保育・教育の充実が図れると思います。

#### 《参加者からのアンケートから》

- ・普段話す機会がない幼保の先生方からお話を伺うことができ、貴重な経験となりました。先生方や保護者が不安に思っていることを聞けたので、今後の教育活動に生かしたいと思います。（小学校：参加者）
- ・高瀬小学校の「よくわかる！高瀬小学校基本ガイド」は「なるほど、わかる！」と思いました。素晴らしい資料を見せていただきありがとうございました。（保育所：参加者）

「協議会だより」は総合教育支援センターのウェブサイトにも掲載いたします。